

大阪大学×梅花女子大学×凸版印刷株式会社
シンポジウム開催のお知らせ

梅花女子大学所蔵 中井終子日記を通して探る 懐徳堂研究と女子教育の揺籃期

梅花女子大学は来る12月5日(土)、大阪大学懐徳堂研究センター、凸版印刷株式会社と共に、本学所蔵の「中井終子」資料をもとにしたシンポジウムを開催します。

明治の末に盛んに行われた懐徳堂顕彰運動の歴史や、明治初期の女子教育についての講演を交え、懐徳堂研究の新たな可能性と、終子に至る梅花の女子教育の歴史をひもときます。

大阪において、江戸期より漢学の学問所として多くの門下生を輩出した懐徳堂。かねてより、大阪大学の附属機関・懐徳堂研究センターでは、凸版印刷株式会社と共に懐徳堂関連資料のアーカイブ化事業が進められてきました。近年、懐徳堂の歴代学主を務めた中井家の子孫・中井終子が、梅花学園の教員を務めていた縁から、梅花女子大学に眠る中井終子の日記やアルバムの資料価値に注目が集まり、今回、資料調査とはじめてのデジタルアーカイブ化に向けた取り組みがスタートしました。

シンポジウムでは、デジタルアーカイブ化がもたらす今後の懐徳堂研究の可能性について、そして終子とその兄・木菟^{つぐ}麻呂^{まろ}が教鞭を振るった梅花女子大学の事例をもとに、明治初期の女子教育について考えます。

- 日程:12月5日(土)13:30~16:00(13:00 開場)
- 会場:グランフロント大阪北館ナレッジキャピタル「The Lab.」2F アクティブスタジオ
- 参加無料/事前申込不要

懐徳堂と中井終子

懐徳堂は、1724(享保9)年に大阪町人によって創設された漢学の学問所で、以後140余年に渡り多くの門下生を輩出、大阪学術の発展に貢献した。現在の大阪大学の源流とされる。

懐徳堂4代目学主・中井竹山の曾孫にあたる中井終子は、懐徳堂の再建に貢献した兄・木菟^{つぐ}麻呂^{まろ}と共に、梅花女子大学の教員として女子教育に力を注いだ人物。

この件につきましてのお問い合わせ等は、発信者 藤原・木村までお願いいたします。

住所:〒567-8578 大阪府茨木市宿久庄 2-19-5
TEL:072-643-6343(直通) FAX:072-643-6277
担当:企画部広報グループ 藤原・木村
E-mail:kikaku@baika.ac.jp

学校法人 梅花学園

梅花女子大学/大学院
梅花高等学校
梅花中学校
梅花幼稚園